

ワイズメンズクラブ西日本区

中部 会長・主査 各位

ワイズ中部 会長・主査連絡会(第1回) 記録

日時:2021年8月8日(日) 16:05~17:45

開催:各自宅などからZOOMによるリモート会議方式

出席:渡辺部長、山内会長、平野会長、荒川文会長、服部会長、清水会長、
坂口主査、清水主査(兼)、平野主査(兼)、数澤主査、
谷川事務局長、川本主査、(全10名)

1. 中部部長挨拶 及び 国際・地域・区の報告

- ・アジア太平洋地域大会(台湾)がオールリモート形式で8月14日(土)開催される。
(大会事務局よりインビテーション、8月10日配信済み)
- ・2022年開催予定であった国際大会(ハワイ開催)は、中止となった。
- ・東西日本区交流会「ワイズ100周年記念」が2022年2月、神戸にて開催される。
- ・アジア太平洋地域の憲法改正国際投票期限が8月15日と迫っている。現在中部のクラブ2クラブが投票済み。未投票のクラブは急いでください。
- ・EMC事業主任より今年度前半の半年報が報告された。中部は正会員78名、担当主事5名、特別メネット1名。西日本区全体では正会員1292名、担当主事74名、特別メネット36名である。2020-21年度の津クラブ解散で中部はマイナスでのスタートとなった。

2. 各クラブ会長からの報告 (7月キックオフの様子ほか)

① 金沢クラブ(山内会長)

- ・2名減の6名の正会員でスタート。自身3年連続の会長を務める。外部から見て魅力のあるクラブだろうかを自問・反省し、奉仕活動の輪を拡げる。
- ・「子ども食堂」に対する協力を7月から開始した。(コロナ禍で当面はお弁当作り)
- ・一昨年、金沢JCより、金沢YMCA宛に、シングルマザーの会支援の要請があり、金沢クラブがバックアップし、デーキャンプを実施した。金沢YMCAが引継ぎ実施することになっているが、昨年、今年はコロナのため中止。昨年は金沢ワイズメンズクラブが過去から実施している「芋煮会」の実績を生かして行った。今年度も開催予定。
- ・昨年度より若い人を例会に誘う事を実施中で、現在3名の若者が年に数回、来てくれている。→入会にまでこぎつけた。中部部会への参加も要請中である。

② 名古屋クラブ(平野会長)

- ・「誘い誘われ楽しむワイズ、そこに愛はあるんか？」をテーマにキックオフ。クラブメンバー同士が互いに声を掛け合い、皆で繰り出せる機会づくりに心がける。8月には加藤明宏さんの再入会が決まり20名体制となる。
- ・第一例会はリアルとリモートのハイブリッド形式で、第二例会は完全リモートで行う。
- ・クラブ5か年計画を立案し、メンバー全員で話し合いクラブ存続の意識を共有する。
- ・一般参加型のプログラム(オープン例会)を実施したい。EMC主査とも相談し、中部のプログラムとして展開できないか?を探る。

- ・退会されたメンバーへのフォロー(津クラブメンバーなど)を実施する
- ・南山クラブとの協働を展開する。10月の南山農園例会へのクラブを挙げての参加や12月の合同クリスマス例会などを通じてコラボしていく予定。

名古屋南山クラブ(荒川会長)

- ・今年度ももう1年、クラブ存続について検討する年となる。
- ・南山農園(愛知県豊明市)の維持・管理を通じて「秋の芋ほり体験」プログラムを、YMCA関連、その他児童養護施設など、Yサ事業、地域奉仕事業を展開している。今年度も収穫時期(10-11月)の土日はほぼフルパワーで活動が予定されている。今夏のYMCAキャンプ場への玉ねぎ提供などにも貢献中。
- ・10月17日の農場例会に多くのワイズメンの参加を働きかける。

③ 名古屋グランパスクラブ(服部会長)

- ・今期15名でスタート。例会は当面ZOOMによるリモート例会にて開催する。
- ・2022年8月にクラブ30周年を迎える。その為の準備の時とする。
- ・今期もYMCAサービス事業を中心にした活動「名古屋YMCA日本語学院支援」「名古屋YMCA日和田キャンプ場支援(整備)」セカンドハーベスト(フードバンク)とのつながり強化を展開する。

④ とやまクラブ(清水会長)

- ・チャーター3年目を迎える。8月例会はコロナ禍による中止が決定した。
- ・9月以降、富山YMCAアフリカフェスタ、富山アースデー、富山YMCAバザー・・・とYMCAプログラムに参加し、YMCAサービス事業を展開する。
- ・富山YMCAのユースリーダーに対し、中部部会への参加を要請していたが、YMCAのプログラムとバッティングしていて難しい。しかし、他のYMCAのユースリーダーとの交流を通じ相互に刺激しあえるようなプログラムを別途、YMCAサービス事業の一環で計画したい。

3. 各事業主査からの報告

① YMCAサービス事業主査(坂口:グランパス)

- ・YMCAをサポートすることは沢山ある。その中で、今世間では空前の「キャンプ」ブーム。名古屋YMCA日和田キャンプ場を見ると、全体の1/3も使用していないのが現状である。それに加え、築40年経過し老朽化も進み、例えば「旗揚げ用の台はあるが、ポールがなかったり・・・」非常にもったいないの一言である。名古屋YMCA 120周年記念事業「日和田再生計画」を全面的に支援し、日和田キャンプ場が経済的にも自立できるようにする良い機会と位置付ける。(人的サポートもボランティアだけでは限界である)。今回部会を日和田キャンプ場で行うため、現状をよく見ていただき、支援の必要を感じ取っていただきたい。

② 地域奉仕・環境事業主査(清水:とやま)

- ・CS献金、TOF献金については、折を見て各クラブ宛にご案内するのでご協力を。
- ・解っているようで解っていない「SDG's」について、各クラブ宛に展開を予定する。

③ 国際・交流事業主査(平野:名古屋)

- ・2021-22年度の西日本区の国際・交流事業主任が、名古屋クラブから選出されている(深谷聡メン)。積極的に交流事業を促進する。

- ・BF デリゲートの募集が始まっている。中部からエントリーされるメンバーを希望する。
- ・京都 TO-BE クラブより、名古屋クラブに DBC の打診有り？ 今後の展開に期待。
- ・コロナパンデミックの影響で、なかなかリアルでの交流が難しい時期ではあるが、コロナの副産物「ZOOM などリモートツール」を有効利用してリモート交流会など企画立案をお勧めする。今こそ「はなれていてもつながっている」を実践しよう！

④ EMC 事業主査(太田:東海) ← 欠席のため、渡辺部長より報告

- ・この期開始前に各クラブ会長に要請し回答いただいた、EMC 事業計画書の集計結果報告が、共有画面を通じて行われた。各クラブ、会員増強目標達成を目指す旨報告があった。
- ・名古屋クラブより一般参加型の例会の提案があったが、従来の EMC シンポジウムに代わる形としてこれを参考に展開できないか？ ワイズを直接 PR できるプログラム（親子で参加でき、ネームバリューも有り、安価で呼べるユーチューバーなどを人選）を中部の EMC 事業の一環で企画したらどうか？ ← 太田主査との協議を今後実施する。

⑤ メネット事業主査(数澤:金沢)

- ・中部各クラブにてメネット会を再開できるクラブはありませんか？ メネット会はそもそも「メンのお膳立て」でできた組織である。もう1・2クラブメネット会が無いと、主査として張り合いが無い。是非、メンから働きかけてほしい。
- ・今期西日本区のメネット事業「ヘッドネーション」について、各クラブの反応はどうか？ ヘアの長さ、色など当初の計画とは異なる部分が出てきているので、8月17日の講演会(ZOOM)を視聴し、再度各クラブに連絡する。
- ・西日本区のメネット事業自体をどうするか？ 区の役員レベルでも検討が重ねられているようだ。

4. 中部部会について(谷川実行委員長)

- ・部会の実行委員会について、今期中部のキャビネット以外にも前期のキャビネットメンバー(グランパスクラブ)、とやまクラブの応援も得て、委員会を重ね準備を進めている。キャンプに相応しく「旗揚げ式」をやることでバナーセレモニーはやらないつもりであったが、先程Yサ主査の報告にもあったように「旗揚げ台はあるがポールが無い」との事態である。開会セレモニーをどうするか？ 今後委員会で決め、皆さんに連絡する。
- ・目下の最大懸念事項は、愛知県・岐阜県に8月末までのコロナパンデミック対応「まん延防止等重点措置」が発出されたことである。部会を「やりたいが」「感染クラスターは絶対出せられない」、思案の為所である。まずは、開催を前提として準備を進めるので、各クラブ、一人でも多くの方にご参加いただきたい。

5. その他

- ・各クラブ CS 事業などで南山農園を利用いただくことは、Welcome。事前に南山クラブ迄連絡ください。
- ・退会者(津クラブ)のフォローを個人レベルで実施し、ワイズ復帰よりもまず、例会ゲスト参加要請など、つながりを絶やさないうようお願いする。